

# 世界基準の安心安全都市を目指して

みんなで作るセーフコミュニティ



## 子どもの安全対策委員会

～ 活動報告 ～



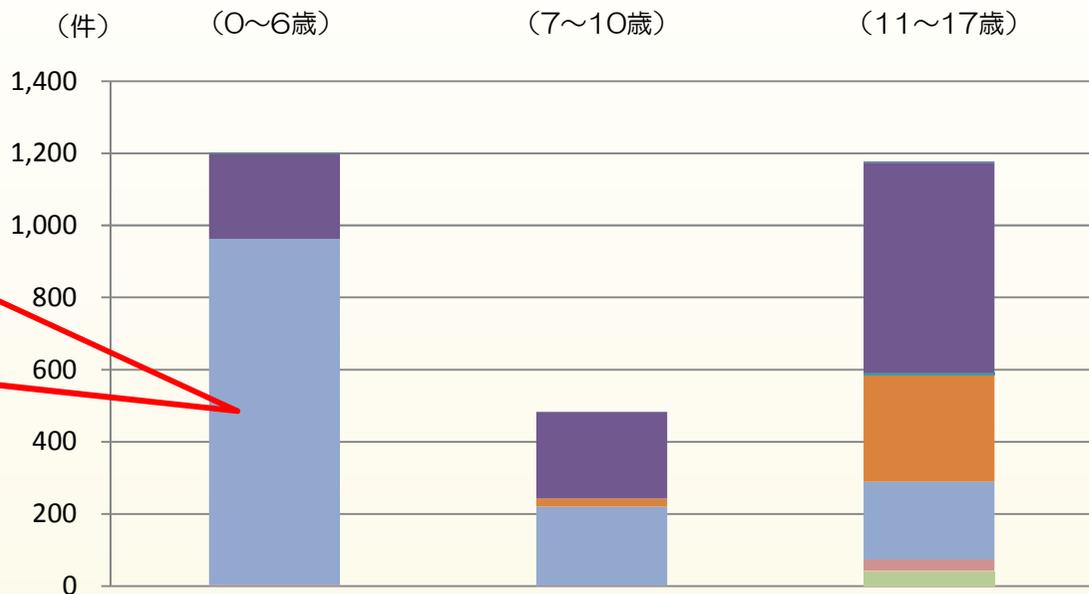
報告者：平嶋 慶子

所属：鹿児島女子短期大学

# ◇ 子どもの安全対策委員会の設置理由

「一般負傷（転倒など）」が最も多く、次いで、「交通事故」が原因である。  
 「一般負傷」では、「0～6歳」が飛びぬけて高い数である。

0～6歳の  
 「一般負傷」は、  
 0～17歳の全事故種別の  
 3割を超える！



(図1)

	計	0～6歳	7～10歳	11～17歳
■ 火災	8 件	3 件	2 件	3 件
■ 自然災害	0 件	0 件	0 件	0 件
■ 水難	2 件	1 件	0 件	1 件
■ 交通事故	1,290 件	296 件	299 件	695 件
■ 労働災害	7 件	0 件	0 件	7 件
■ 運動競技	427 件	0 件	28 件	399 件
■ 一般負傷	1,798 件	1,236 件	276 件	286 件
■ 加害	47 件	3 件	2 件	42 件
■ 自損行為	53 件	0 件	0 件	53 件

# ◇ 子どもの安全対策委員会の設置理由

0～19歳の年齢別死因順位では、不慮の要因が上位を占めている。  
 児童虐待の実態は依然としてある。

■年齢階層別における死亡原因の状況

(表1)

年齢(歳)	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0～4	不慮の要因	悪性新生物	肺炎、肝疾患		心疾患、腎不全
5～9	悪性新生物	不慮の要因	肺炎		
10～14	自殺、悪性新生物、腎不全			不慮の要因	
15～19	不慮の要因、悪性新生物		自殺		心疾患、腎不全

【出典】かごしま市の保健と福祉(人口動態統計)(鹿児島市) 【データ】市、両性、0～19歳：2008～2012年合計

■児童虐待相談件数

(図2)



子どもの安全対策委員会を設置

～目的～  
 「子どもの身体と心の安心安全を守る」

【出典】市こども福祉課調べ(県児童相談所受付の本市分及び本市受付合算件数)

【データ】市、両性、0～18歳(2009年度～2014年度)

# ◇ 子どもの安全対策委員会の構成

	団体等名	氏名
学識経験者	鹿児島女子短期大学	平嶋 慶子
子どもの安全のための活動を行う団体に属する者	鹿児島市民生委員児童委員協議会	若松 和代
	鹿児島子どもの虐待問題研究会	高田 慶子
	鹿児島市母親クラブ連絡協議会	益山 恵美子
	大竜地区民生委員児童委員協議会	石原 隆子
保健、福祉及び医療関係者	鹿児島市医師会	今村 厚志
	鹿児島県看護協会	八田 明美
	鹿児島市社会福祉協議会	森 正道
教育関係者	鹿児島市保育園協会	精松 公二郎
	鹿児島市私立幼稚園協会	橋口 孝志
行政機関職員	関係7課	7名



委員：17名

(事務局) 子育て支援推進課

## ◇ 子どもの安全対策委員会の経過

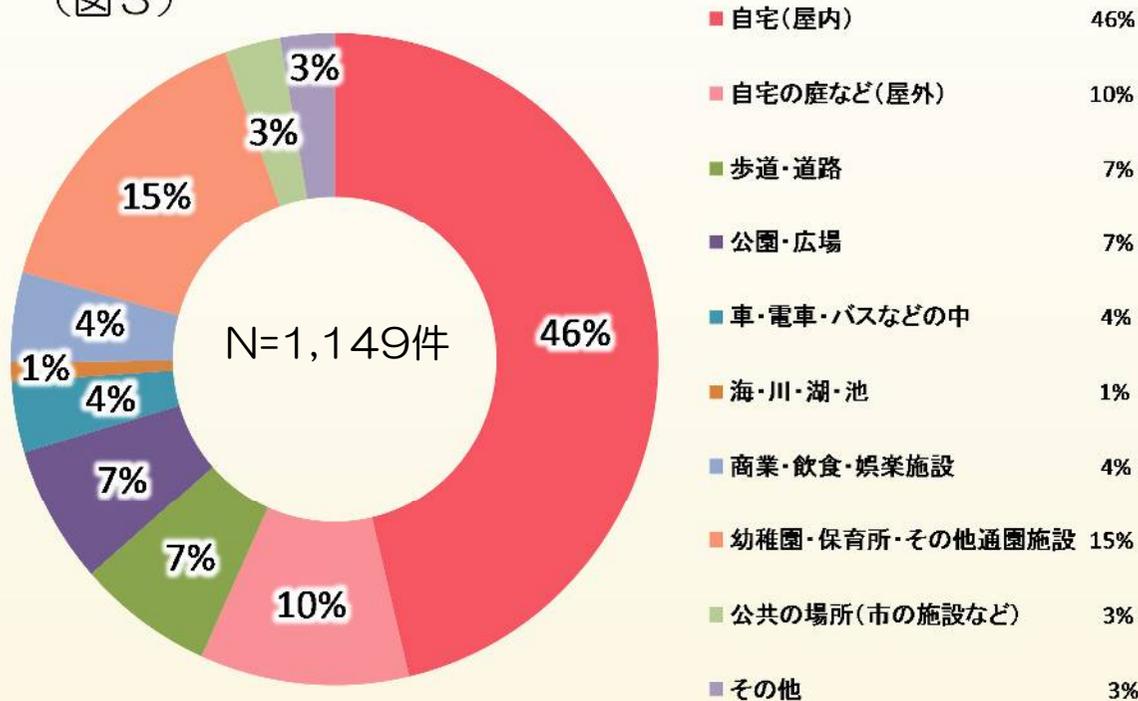
開催日時		主な会議内容
第1回	2013年 5月27日	子どもの安全に関するデータ等の協議
第2回	2013年 7月 5日	データから、目的を決定、具体的な目標の検討
第3回	2013年 8月19日	具体的な目標・モデル地区を決定
第4回	2013年11月22日	具体的なモデル地区の決定
第5回	2014年 5月29日	モデル地区での取組内容の確認
第6回	2014年 6月26日	モデル地区での取組内容の確認・展開
第7回	2014年 7月24日	プレ現地審査資料の確認
第8回	2014年10月 1日	プレ現地審査リハーサル
第9回	2014年10月23日	プレ現地審査
第10回	2015年 1月 9日	評価指標の検討
第11回	2015年 5月22日	モデル地区の取組について、認証申請書の検討等
第12回	2015年 6月 9日	発表資料の確認、危険箇所マップの検討等
第13回	2015年 7月10日	発表資料の確認、危険箇所マップの確認
第14回	2015年 9月 4日	現地審査リハーサル

# ◇ 子どものけがについて【アンケート結果(LA)】

## 場所

「自宅（屋内・屋外）」が最も多く、次いで、「幼稚園・保育所等」である。

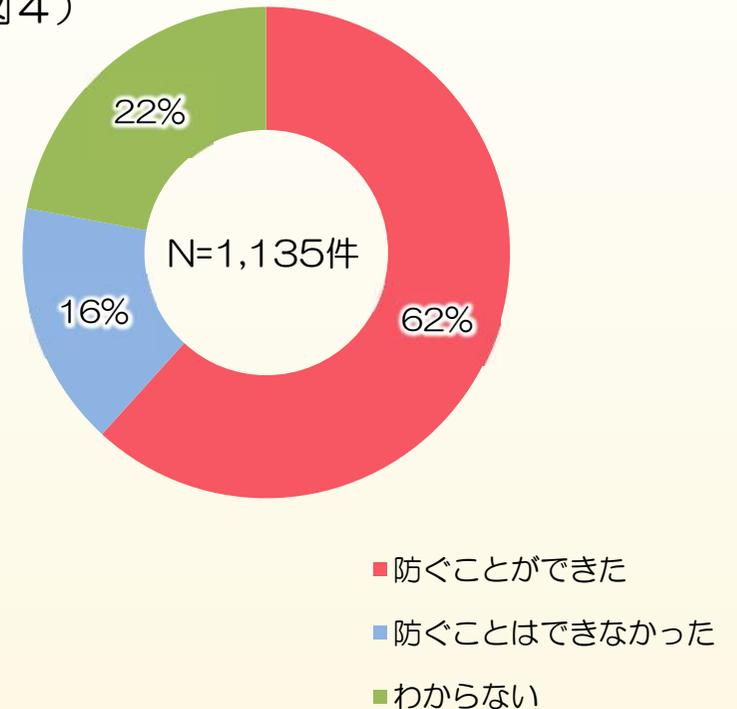
(図3)



## 未然に防ぐことができた可能性

「防ぐことができた」と回答した方は、約60%である。

(図4)



※無回答者除く

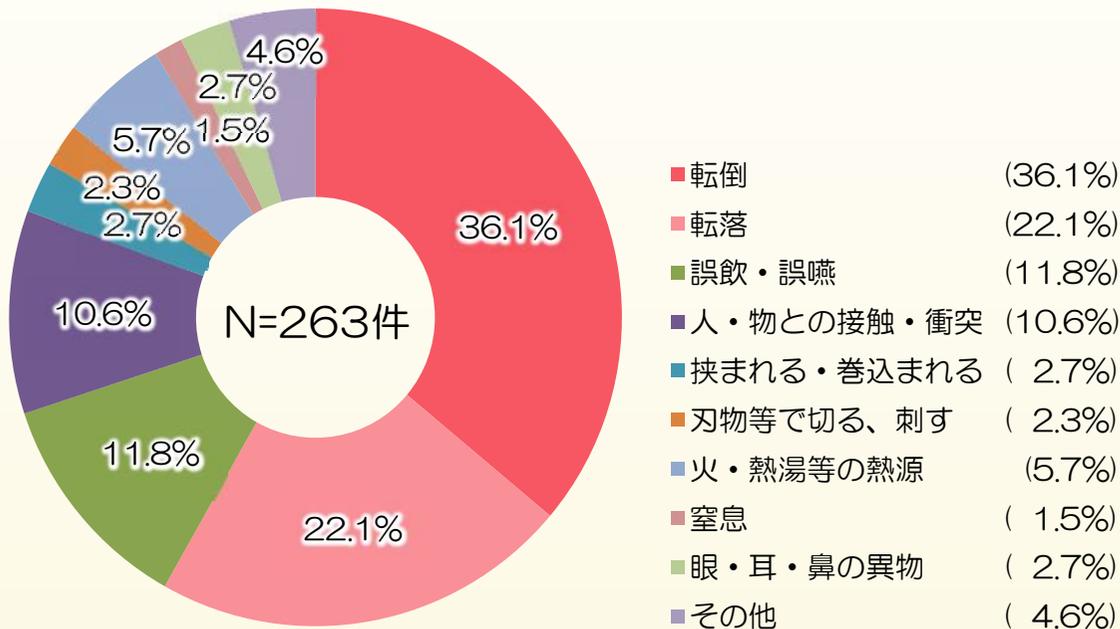
【出典】事故けがに関するアンケート調査（鹿児島市）【データ】市、両性、2012～2014年度

※アンケートは、0～6歳の子どもの保護者、2,000人を無作為抽出し実施したものの。

# ◇ 子どものけがについて【救急搬送】

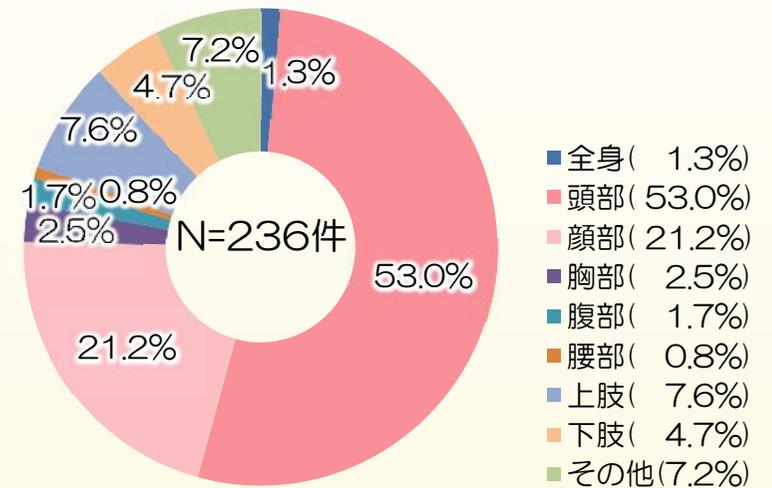
「転倒」、「転落」が高い割合となっている。

(図5)



子どものけがのうち、約74%が「頭部」、「顔部」となっている。

(図6)



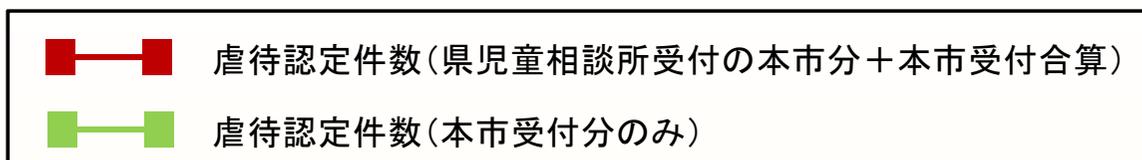
※誤飲・誤嚥以外の一般負傷

【出典】市消防局調べ（市消防局）【データ】市、両性、0～6歳、2014年度

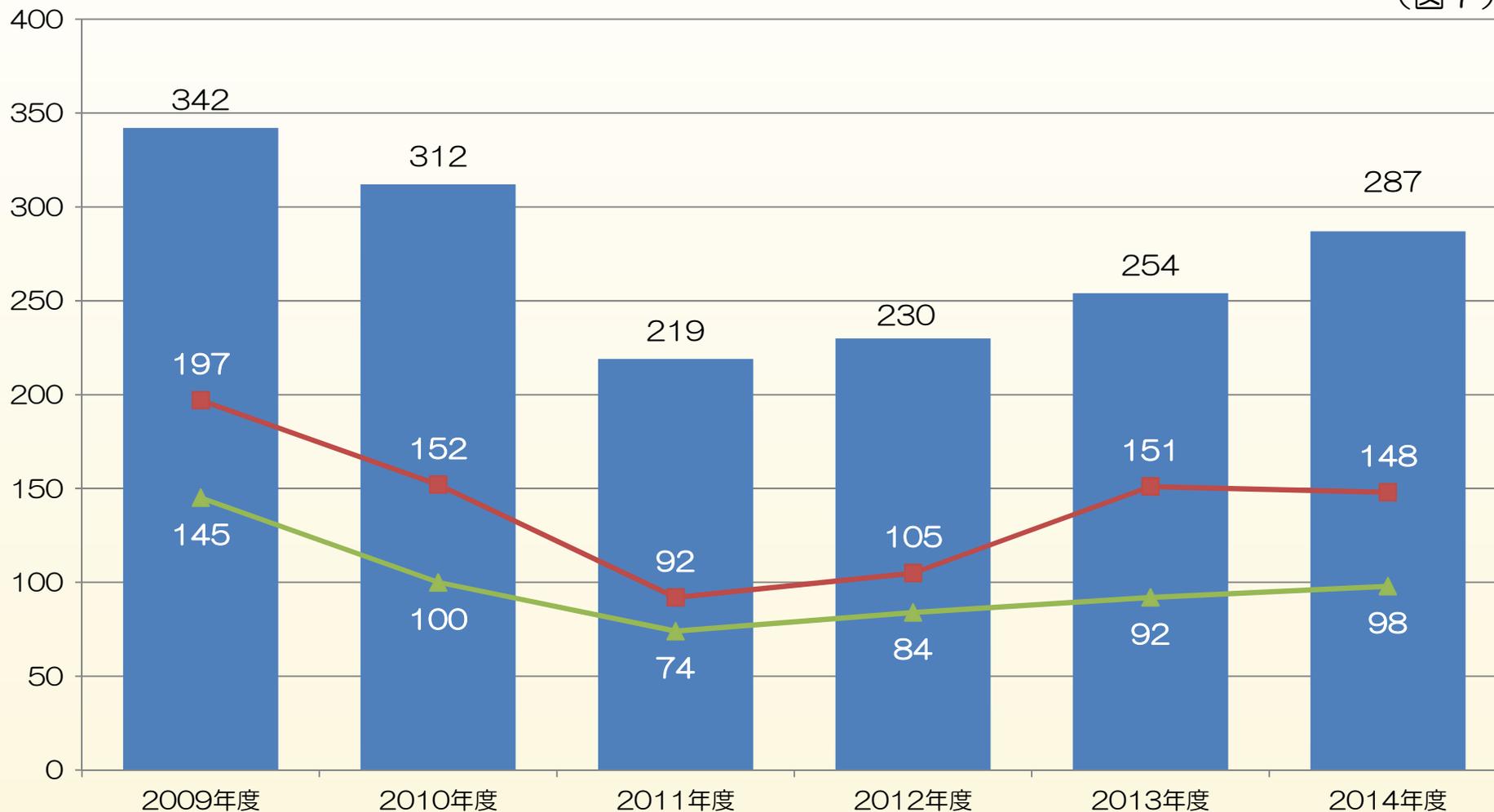


# ◇ 児童虐待【相談受付件数、虐待認定件数】

(相談受付件数)



(図7)



【出典】市こども福祉課調べ(県児童相談所受付の本市分及び本市受付合算件数)

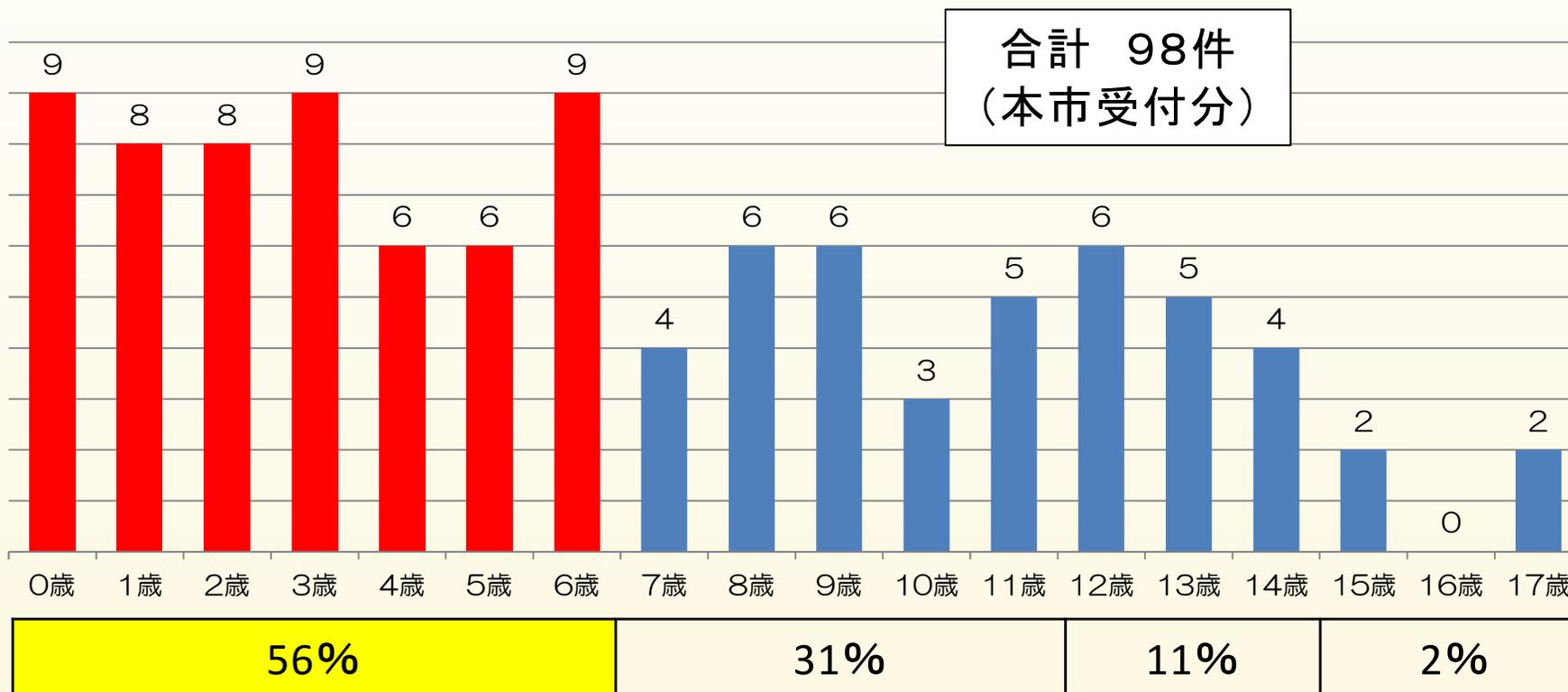
【データ】市、両性、0～18歳(2009年度～2014年度)

# ◇ 児童虐待【被虐待児の年齢別】

被虐待児のうち、就学前児童が約56%である。

(図8)

(単位：件)



【出典】市こども福祉課調べ（本市受付分）  
 【データ】市、両性、0～17歳（2014年度）

## ◇ 児童虐待【被虐待児の年齢別】

● 虐待者の約58%が実母である。

○ 虐待の種類は、ネグレクトが多いが、その後も差異はない。

(表2)

### ■ 虐待者の状況

(単位：件)

	10代	20~24歳	25~29歳	30代	40代	50代	60代	70代	不明	計
実父	1	1	0	12	5	0	0	0	0	19
実父以外の父	2	0	0	2	0	0	0	0	0	4
<b>実母</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>5</b>	<b>24</b>	<b>17</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>57</b>
実母以外の母	0	0	0	4	1	0	0	0	0	5
その他	0	0	2	9	2	0	0	0	0	13
計	6	9	7	51	25	0	0	0	0	98

### ■ 主虐待者別虐待の種類

(表3)

	ネグレクト	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	計
実父	1	7	11	0	19
実父以外の父	0	4	0	0	4
実母	34	13	10	0	57
実母以外の母	4	1	0	0	5
その他	6	3	4	0	13
計	45	28	25	0	98



【出典】市こども福祉課調べ（本市受付分）

【データ】市、両性、0~17歳（2014年度）

# ◇ 鹿児島市の現状・課題と方向性

## 現 状・課 題

① 子どもの「けが」は、  
0～6歳の「一般負傷」が最も多い

② 「けが」の発生場所は、  
「自宅（屋内・屋外）」が最も多く、  
次いで「幼稚園・保育所等」が多い

③ 子どものけがのうち、約74%が  
頭部、顔部を受傷している

④ 被虐待児のうち、就学前児童が  
約56%である

⑤ 虐待者の約58%が実母である。

## 方向性

0歳から6歳の、「家庭」や  
「幼稚園・保育所等」での  
一般負傷を減らす

子育て中の保護者への  
サポートが必要

まずは、これらの現状・課題を解決するため、対策委員会で議論を行った

# ◇ 目的及び具体的目標



## 【目的】

『子どもの身体と心の安心・安全を守る』

## 【具体的目標】

○事故・けがの発生場所で、自宅や幼稚園・保育所等が多かったことから  
まずは、その場所へのアプローチをしよう！！



「家庭内等での事故・けがの減少」

○養育に困難を感じている親が少なからずいる  
○児童虐待の実態は、依然としてある  
○対策委員会として、保護者に寄り添いサポート  
ができないか？



「子育て中の親への支援」

〔取組〕

家庭内での事故・けがに関する情報の発信（講習会）

児童への安全教育（幼稚園、保育所）

職員による室内、園庭等の安全点検（幼稚園、保育所）

体力向上プログラム

〔取組〕

子育てに悩みがある保護者の相談及び子育て体験談の情報発信

児童虐待予防の学習会

# ◇ 具体的目標に対する国・県・市などの取組

出産

3か月

1歳～

(図9)

母と子の健康を支える健診等	(実施主体) 国、県、市	★妊産婦健康相談	★乳幼児健康診査 (3か月、7か月、1歳、1歳6か月、3歳)
子育てに関する相談等	国、県、市	■妊産婦訪問指導	■新生児・妊産婦訪問指導事業 ■こんには赤ちゃん事業 ■育児支援家庭訪問事業
	市独自	★母親・父親になるための準備教室	■産後ケア事業 ■ママのほっとスペース事業 ■育児相談 ■子どもすこやか安心ねっと事業等
主な子育て支援事業等	国、県、市	■助産施設	■幼稚園・保育所・認定こども園 ■病児・病後児保育事業、子育て短期支援事業 ■ファミリー・サポート・センター事業 ■各種手当（児童手当、こども医療費助成など）
	地域・各種団体		★育児相談、母親クラブ、ふれあい・子育てサロン ■にこにこ子育て応援隊（地域みんなで応援隊、職場のパパママ応援隊など）
子どもの安全対策委員会		危険箇所マップの作成・配付、園便りでの広報啓発、体力向上プログラム 子育て体験談の情報発信、虐待予防の学習会 など	

※ ■子育て中の親への支援

★家庭内等での事故・けがの減少＋子育て中の親への支援

## ◇ 現状解決へのステップ1 (その1)

- 子どもの「事故・けが」に関するデータが不足している

### 救急搬送データ

これまで

- ・「一般負傷」の具体的な内容がわからない
- ・年齢については、  
生後28日未満、0～6歳、7～10歳、11～17歳と区分

鹿児島市消防局へデータの細分化を依頼

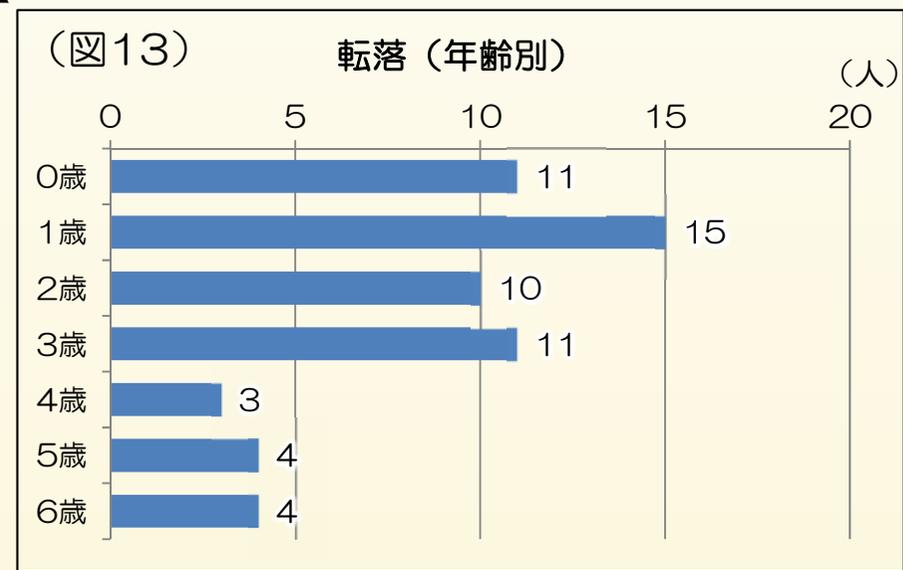
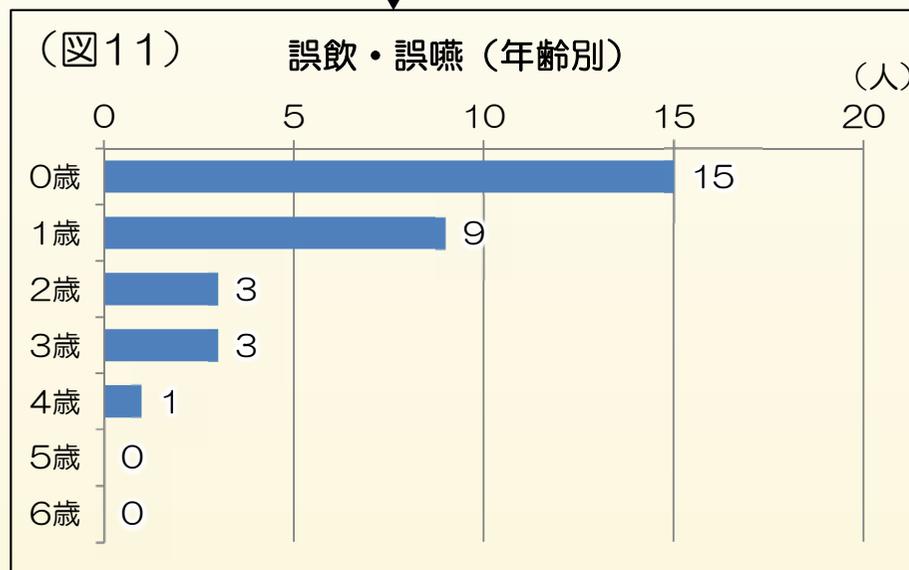
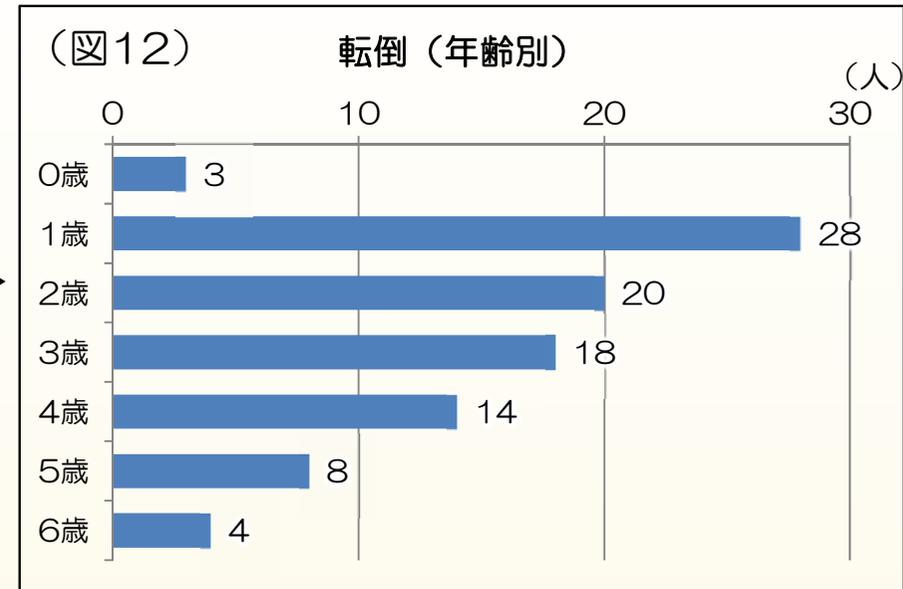
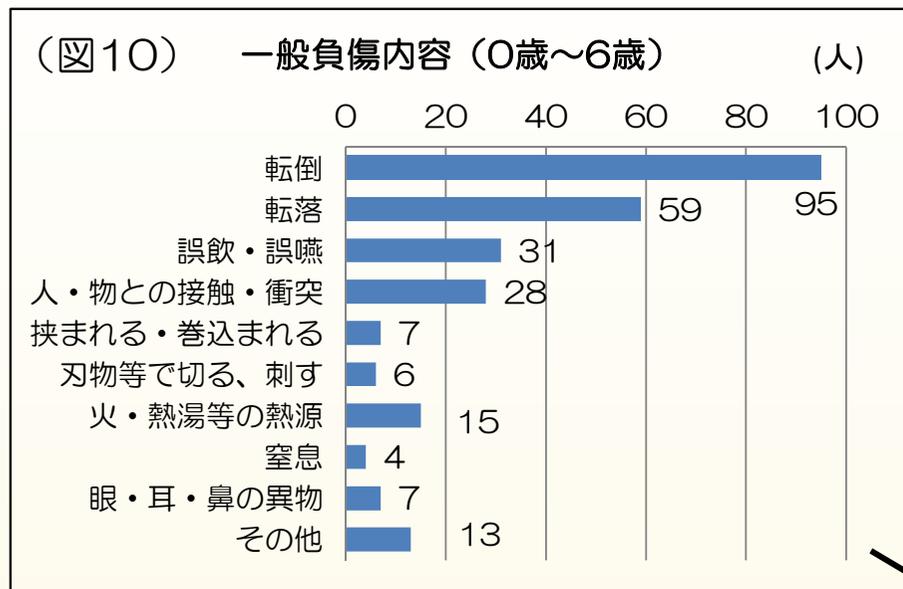
依頼後

- ・「一般負傷」の事故種別の細分化
- ・年齢は、各歳で集計
- ・さらに、場所種別、住宅内種別、けが分類などを集計

←詳しくは  
次ページ

# ◇ 現状解決へのステップ1 (その2)

## ● 集計開始後の救急搬送データ (2014年度)



年齢によって、けがの種別に違いが見られる！データ集積し、活動に活かす！

## ◇ 現状解決へのステップ2

🔍 「0～6歳」の子どもに、どのようにアプローチするか

		(利用者数)	
幼稚園や保育所を利用している	幼稚園	6,426名 /	48施設
	幼保連携型認定こども園	838名 /	20施設
	保育所	10,710名 /	110施設

2015.4現在  
(未就学児) : 33,725名 -----> 17,974名  
〔全体の約53%〕

🔍 幼稚園・保育所を利用していない人へは、どうするか…

鹿児島市には、各地域で活動をしている「子育てサロン」と「母親クラブ」がある！

ふれあい子育てサロン 20,517名 / 49か所 (延べ利用者数)

母親クラブ 926名 / 22団体 (登録者数)

## ◇ 現状解決へのステップ2

### ？ ふれあい・子育てサロンとは

- 対象 : 0～3歳くらいまでの子どもと母親など（申込み等不要）
- 内容 : 季節の行事や遊びなどを通して、仲間づくりや情報交換、育児についての悩みや不安などを語り合いながら、相互に交流を深め、子育てを地域ぐるみで支えあう
- 主催 : 校区社会福祉協議会  
(72校区社協中、56校区社協49か所で実施)

- 地域のボランティアの方も協力し、地域で一体となり子育てを支援  
(スタッフ：約20名)
- 参加者は、毎月約40名



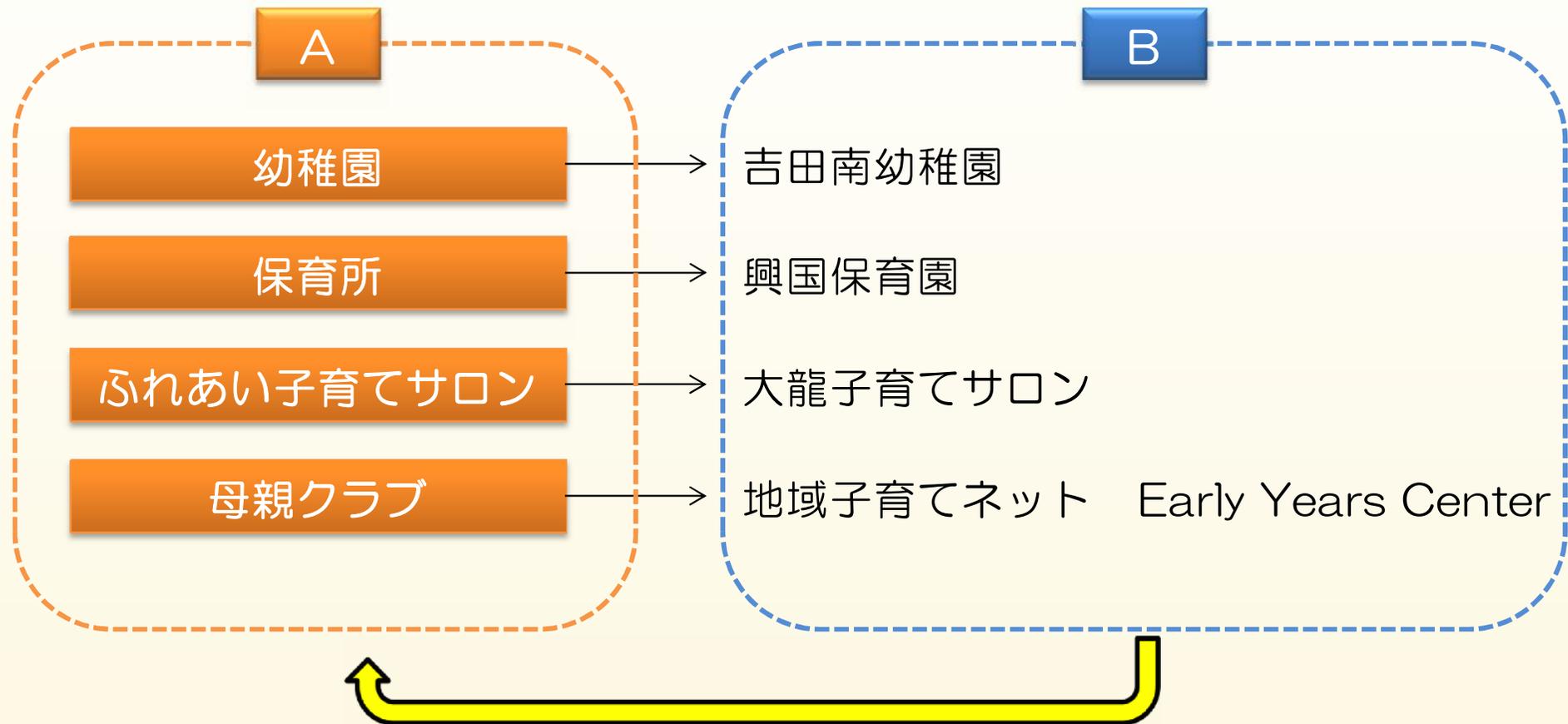
### ？ 母親クラブとは？

それぞれの地域において、児童の健全育成に関心のある母親等で構成されたもの

内容 : 親子及び世代間の交流、文化活動、児童の事故防止等活動 など

## ◇ モデル地区

次の団体から、対策委員が所属している施設等で活動する



「B」で取組みを実施し、最終的には「A」に広める



全市的な取組みとなる！

# ◇ 現状解決への取組み（家庭内等での事故・けがの減少）

吉田南幼稚園・興国保育園



幼稚園・保育所、家庭内での「事故・けが」が多い

幼稚園・保育所での「事故・けが」の発生状況把握

ハード面での対応（施設の改修など）

【実績：雲梯の高さ調整、安全カバー設置等  
確認回数：306回】

ソフト面での対応（遊具の正しい使い方指導等）

【実績：31回】

カリキュラムに運動を取入れ園児の体力向上を図り、けがの防止につなげる（吉田南幼稚園）

【実績：1,305人（延べ人数）】

保護者（モデル地区）へ「事故・けが」のアンケート実施

データを収集し、今後の取組みに活かす

【実績：アンケート調査1回実施】

園便りでの広報啓発（毎月1回一ロコラムを掲載、対策委員が記事の提供）

【実績：各園3回】

【ターゲット】

園児

【ターゲット】

保護者

# ◇ 現状解決への取組み（家庭内等での事故・けがの減少）

## 大龍子育てサロン・地域子育てネット Early Years Center

家庭内での「事故・けが」が多い

保護者（モデル地区）へ  
「事故・けが」の  
アンケート実施

鹿児島市全体での  
アンケート実施

救急搬送データ

家の中を平面図化した  
「危険箇所マップ」の作成

【実績：ポスター、チラシ作成】

- ・市内の医療機関（930か所）
- ・幼稚園、保育所等（110か所）
- ・母親クラブ会員、  
ふれあい・子育てサロン参加者
- ・母子手帳交付者、乳幼児健康診査  
受診者（1歳6か月、3歳）

応急手当やAED講習の実施

【実績：各団体 年1回】



【ターゲット】  
保護者



# ◇ 現状解決への取組み（子育て中の親への支援）

## 吉田南幼稚園・興国保育園

### ① 園便りでの広報啓発【実績：各園4回】

- 育児不安のある保護者へ、相談する場所があることを紹介
- 父親の家事・育児の協力



### ② 相談の実施【実績：1件】

- 「事故・けが」のアンケートと同時に、子育てなどに悩みがある方は、記名してもらい、対策委員が連携して相談を実施



一般的なアンケート（質問して終わり）ではなく、真剣に保護者に寄り添う

### ③ 子育て体験談の情報発信【実績：体験談集約中】

- 保護者がこれまで体験してきた、子育て中の悩みや解決策を募集し共有することで、同じような悩みを抱えた方が「自分だけじゃないんだ。」と思えるよう心のケアに取り組む

### ④ 教諭及び保育士の虐待予防の学習会の実施【実績：各園1回 計21人】

- 対策委員が講師となり、虐待に関する知識をつけ、未然防止につなげる

# ◇ 現状解決への取組み（子育て中の親への支援）

## 大龍子育てサロン・地域子育てネット Early Years Center

この活動が実施されていることが、現在も「子育て中の親への支援」に大きく寄与している。

### ① 継続した活動の実施



### ② 相談の実施

→「事故・けが」のアンケートと同時に、子育てなどに悩みがある方は、記名してもらい、対策委員が連携して相談を実施



一般的なアンケート（質問して終わり）ではなく、真剣に保護者に寄り添う

### ③ 子育て体験談の情報発信【実績：体験談集約中】

→保護者がこれまで体験してきた、子育て中の悩みや解決策を募集し共有することで、同じような悩みを抱えた方が「自分だけじゃないんだ。」と思えるよう心のケアに取り組む。



# ◇ 評価指標

## 「家庭内等での事故・けがの減少」

(表5)

取り組み	活動指標	実績
家庭内での事故・けがに関する情報の発信（及び講習会）	情報発信の施設数、回数（講習会実施回数、参加者数）	園便りによる啓発：各7回/2団体 アンケート調査：140人 (2014年度)
成果指標（短期）	成果指標（中期）	成果指標（長期）
①家庭内の安全対策についての認識度 ②アンケート調査 ③保護者（講習会参加者）	①家庭内の安全対策に取り組んでいる人の割合 ②アンケート調査 ③保護者（講習会参加者）	①子どもの事故・けがの人数 ②救急搬送データ ③子ども

## 「子育て中の親への支援」

(表6)

取り組み	活動指標	実績
子育てに悩みがある保護者の相談及び子育て体験談の情報発信	子育てに悩みがある保護者の相談回数・人数、体験談事例数、情報発信数	アンケート調査：140人（2014年度）
成果指標（短期）	成果指標（中期）	成果指標（長期）
①保護者の悩み等の相談場所及び体験談事例集の認識度 ②アンケート調査 ③保護者	①支援が必要な保護者の相談者数及び事例集が参考になった人の割合 ②相談記録 ③保護者	①相談内容（悩み）が解消された割合 ②相談記録、アンケート調査 ③保護者

## ◇ セーフコミュニティによる変化と気づき

市消防局において、データを細分化していただいたことにより、子どものけがについて、より具体的情報を得ることができるようになった。

子育て中の親に実施するアンケートを、ただのアンケートで終わらせるのではなく、相談まで行う体制を築くことができた。

### モデル地区実施のアンケート(抜粋)

子育てには、子どもの発達や育児方法など、誰でも不安や悩みがつきものです。一人で抱え込まないで、まず誰かに相談してください。相談を希望される方は、連絡先をご記入ください。ご連絡さしあげます。

#### 【連絡先】

氏 名

電話番号

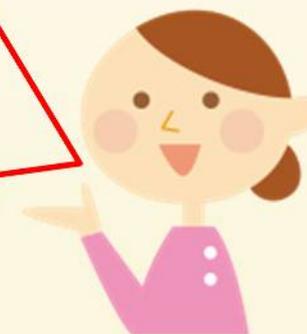


「子どもの安全」に関し、多くの団体関わっていることを再認識し、今後もネットワークを継続的に有意義なものとして維持していくことが必要

## ◇ 今後の検討課題

- 救急搬送の集積データが増えてきた時点での、活動内容の見直し
- 「学校の安全」と「DV防止」など、他対策委員会との連携

鹿児島市の子どもが健やかに成長し  
保護者が喜びや生きがいを感じながら  
子育てができるよう  
対策委員全員で取組んでいきます！



ご清聴ありがとうございました

世界基準の安心安全都市を目指して

みんなで作るセーフコミュニティ

Ka

go

shi

ma